

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
臨床実習4						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
鍼灸学科・昼間部	3年	3・4期	大橋 理那・青木 春美			
分野区分	教育課程			講義形式	単位	
専門分野	臨床実習			実技	1	
コマ数						
23						
科目概要						
患者・施術者関係を構築するとともに、医療面接、全身の診察、検査法、施術など、時間配分を考え、基本的な施術行為を教員による指導・監督の下に学生が施術の介助を行う。						
目標						
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	鍼灸臨床の実践を通じて施術に必要な技術を身に付ける。 また、自身の持つ課題に気付き解決する姿勢を身に付ける。 時間配分が計画でき行える。					
	到達目標(SBO) <small>一般目標と達成するための必要具体的な内容、変数的な指標(合格基準)</small>	医療面接、診察、検査法、施術の項目での時間配分が計画でき行える。 医療面接で必要な情報を得る事が出来る。 指導教員に指示した徒手検査を実施する事が出来る。 治療計画を立案できる。 指導教員の行う刺鍼、施灸の介助が出来る。 診療録(カルテ)を作成する事が出来る。				
履修に必要な予備知識や技能						
学習してきた内容						
教科書・参考書						
受講上の注意						
患者様の個人情報(カルテ)や、プライバシーへの配慮に注意すること。 衛生環境状、白衣で受講すること。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他
評価割合(%)	必要な出席数をもって単位を認定					100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	付属施設にて実習を行います。 教員の指示のもと以下の様な内容を実施します。 医療面接、診察、検査法、施術の時間配分を考える。					
第2回	【医療面接】					
第3回	・傾聴、受容、共感ができる。 ・必要な情報を得ることができる。					
第4回	【診察法】					
第5回	・関節可動域を評価する。 ・患部を触診する。 ・徒手検査を行い評価する。 ・舌診 ・脈診(脈状診・六部定位脈診) ・腹診					
第6回	【触診・取穴】					
第7回	・ランドマーク ・軟部組織(筋、腱、靭帯、脂肪組織など) ・経絡経穴					
第8回	【刺鍼技能】					
第9回	・ほぼ無痛で弾入切皮を行う。 ・指定された方向(角度)に刺入する。 ・指定された深度に刺入する。 ・指定された補瀉手技を行う。					
第10回	【施灸技能】					
第11回	・適切な温度での透熱灸を行う。 ・適切な緩和処置を行う。					
第12回						
第13回						
第14回						
第15回						
第16回						
第17回						
第18回						
第19回						
第20回						
第21回						
第22回						
第23回						
実務経験と本講義との関連について						
メールアドレス						
ohashi@nihonisen.ac.jp						